

令和5年度 学校魅力化フォーラム

# 学校統合「反対」から「賛成」へ

保護者合意形成への過程と3つの要素

新潟県 新発田市 教育委員会

# 新発田市の概要



新潟県北部に位置し、  
新潟市から車で30分の距離



人口 約9万4千人（県4位）  
平成15年 **豊浦町**を編入合併  
平成17年 **紫雲寺町**と  
**加治川村**を編入合併



2

山から海まで自然の魅力あり！  
月岡温泉など観光資源あり！  
城下町の歴史・文化あり！  
面積 約533km<sup>2</sup>

# 自然



滝谷森林公園



藤塚浜海水浴場

# 観光

月あかりの庭



4



月岡温泉街

# 歷史



足輕長屋



新発田城

# 新発田市 教育制度等 検討委員会

平成20年9月 設置  
平成21年5月 報告

- 平成の市町村合併後、少子化の進展による学校の小規模化への対応等が重要な行政課題となる
- 平成20年9月「新発田市教育制度等検討委員会」を設置
- メインテーマを「子どもたちにとっての望ましい教育環境」とし、次の4項目を審議
  - ① 小規模校のメリット・デメリット
  - ② 望ましい学級数・学級人数
  - ③ 地域における学校施設の在り方
  - ④ 安全・安心な通学の在り方
- 計8回にわたる審議を経て、平成21年5月検討結果を市教育委員会へ報告

平成21年5月「新発田市教育制度等  
検討委員会」からの報告・提言を受けて

# 新発田市立 小・中学校の望ましい 教育環境に関する 基本方針

平成22年3月 策定

- **小規模化が顕著な市街地郊外の小学校から、望ましい教育環境実現のための手段として学区再編**
- **1学年2クラス以上**  
クラス替えが可能  
集団としての競争心の育成、多くの先生と接し子どもたちの多面的なものが見方が育成される
- **1クラス20名以上**  
多様な考えや意見の中で、思考力・判断力・表現力が磨かれる  
競争心が育まれ、切磋琢磨する向上心が生まれる  
複数グループによる学習活動や集団スポーツが可能になる

# 基本方針に基づく 学区再編計画と 小学校統合の推移

- 目的は、子どもたちにとって望ましい教育環境の整備
- そのため手段として、小学校統合
- 条件は、地域住民と保護者の合意形成

- 計画期間 10年間  
平成23年度から令和2年度
- 中学校区単位で小学校統合
- 市内全10中学校区のうち、5中学校区で推進(合併町村含む)
- 4つの中学校区で小学校統合実現  
平成26年4月 川東(3小学校)  
平成30年4月 東(4小学校)  
令和 3年4月 七葉(2小学校)、豊浦(4小学校)
- 1つの中学校区は、一部保護者の反対表明を受け、統合目標時期を当面延期



# 新発田市立 小・中学校の校区図

平成22年3月 当時

中学校 10校

小学校 24校

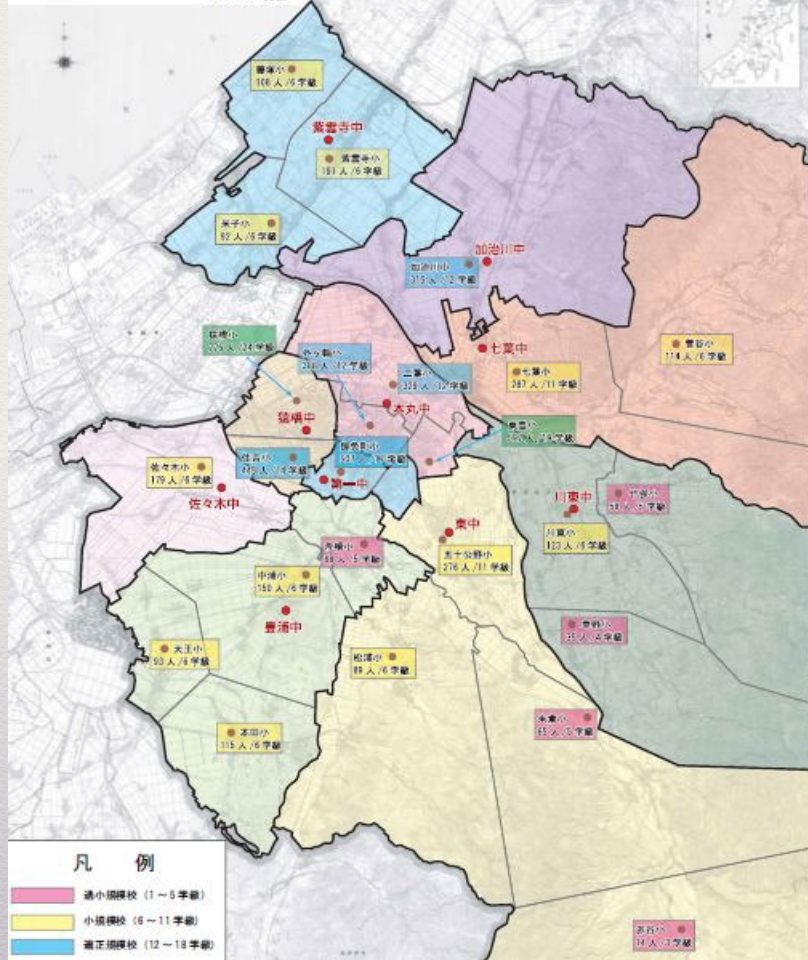


中学校 10校

小学校 13校

令和7年4月 予定

市内小・中学校エリア図  
H21.5.1 現在



# 学校統合「反対」 表明までの経過

- 平成23年3月  
紫雲寺中学校区(旧紫雲寺町の地域)  
3つの小学校を1つに統合する計画案を発表
- 平成23年度以降  
小学校区単位で住民・保護者説明会を開催  
住民説明会では、紛糾する場面も…  
保護者説明会では、反対意見が多数寄せられ…  
市教育委員会事務局は、粘り強く説明会を継続
- 平成28年度から29年度  
学校統合を前提とした「紫雲寺地域統合検討委員会」設立(3小学校区の自治会・保護者の代表で構成)  
6回にわたる会議で、学校統合の課題を協議し、  
まとめの段階まで進む(シート19参照)  
各小学校区で、統合の賛否を確認することとした
- 平成30年1月  
藤塚小学校区の保護者は、アンケート調査の結果、  
反対多数となり、学校統合に「反対」の立場を表明

# 学校統合「反対」 表明を受けて 市と市教委の対応

基本方針から「ブレない」こと

- 3小学校の統合で、市教育委員会が  
目指す望ましい教育環境が実現できる
- 「反対」を除く2校の統合では、市教育委  
員会が目指す望ましい教育環境とする  
「1学年2クラス」にならない
- 反対意見がある状況では、地域と保護  
者の合意形成が得られたとは言えず、  
行政が強引に学校統合を進めるべきで  
はない
- しかし、子どもたちの望ましい教育環境  
実現は、あきらめない
- まずは、学校統合の時期を「当面延期」  
表明した

# 学校統合「反対」 から「賛成」へ 3つの要素

## その1

### 地域のリーダーを味方につける

- ①地域のまとめ役、影響力のある人（議会議員、長老、重鎮、自治会長、町内会長など）市の基本方針のご理解、ご協力を得る
- ②市の担当者が、地域の歴史や文化、特徴をよく知り、尊重する
- ③お互い本音で話し合う。地域にとって、子どもたちにとって、将来どうあるべきか？

# 学校統合「反対」 から「賛成」へ 3つの要素

## その2

保護者「反対」の理由を  
正確に把握し、打開策を探る

### 【主な反対意見】

- 全校児童130人規模の小学校、各クラス20人程度おり、教員の目が行き届くきめ細かい指導が受けられる。今の学校環境でなんら問題ない
- 小学校が近くにあるから、宅地分譲地を購入して家を建てた。なぜ遠い統合校へ通わなければならないのか
- 統合後の通学支援スクールバス運行があるのかはっきりしない

(当時、地域の公共交通は学校統合の通学支援とセットで検討する市の方針)

# 学校統合「反対」 から「賛成」へ 3つの要素

## その3

### チャンスを逃さず、タイムリー に情報発信する

- 人口動態を毎年チェック  
令和5年度以降、急激に児童数が減少する
- 令和8年度、複式学級発生が見えた
- 市の方針変更「地域の公共交通と、学校統合時の通学支援は別で検討する」

こうした状況変化を、ていねいに保護者の代表へ説明し、行政担当者と意見交換会

小学校、保育園の全保護者へ周知文書を配布、合わせて全戸回覧

令和3年7月13日

紫雲寺中学校区小学校児童の保護者様

紫雲寺中学校区保育園園児の保護者様

新発田市教育委員会

## 紫雲寺地域の3小学校の統合について

平成23年の説明会からスタートし、平成28、29年に検討委員会で協議した3小学校の統合については、様々な御意見をいただき、これまで見合わせておりました。その後、児童数の減少が、今後更に見込まれることが判明いたしました。

市教育委員会といたしましては、こうした状況を踏まえ、子どもたちの教育環境を整備するため、3小学校の統合を進めていきたいと考えております。

つきましては、今後、統合の計画を検討していくにあたり、改めて保護者の皆様、地域の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## 状況変化② 地域の公共交通と通学支援の分離

これまでの「公共交通は学校統合地区を優先に進める」という方針から、「学校統合時期を待たずとも、積極的に公共交通の整備を進める」という方針に変わりました。

すなわち「学校統合に伴い必要となる通学支援については、公共交通とは別に検討を進める」こととなり、「スクールバス」の運行についても検討していくことになりました。

お問い合わせ：新発田市教育委員会教育企画課 Tel 0254-22-6785

## 状況変化① 児童数の減少に伴う複式学級の可能性

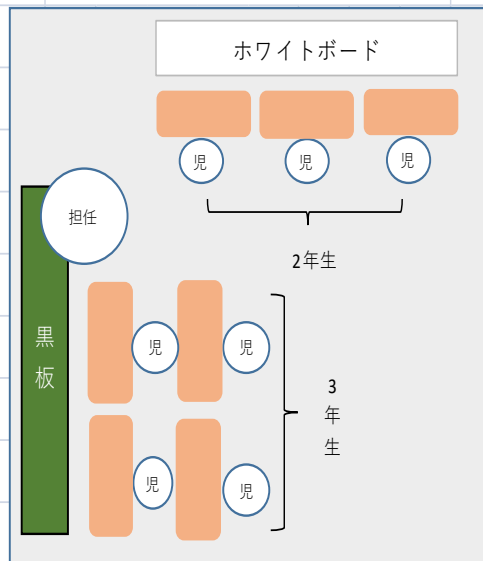
毎年、5月1日現在での児童生徒数や学級数などを把握する「学校基本調査」があります。この調査と同時に将来の児童生徒数を推計しています。裏の表は市の住民基本台帳から集計した年度ごとの学区学年別の子ども的人数です。令和8年度に藤塚小学校で、令和9年度に米子小学校で複式学級が生じる可能性が出てきました。（裏面参照）

### 複式学級は・・・

小学校の場合、2つ以上の学年を合わせても16人以下（1年生を含む場合は、8人以下）となる場合には、1学級の編制とします。学級担任は1人です。

小学校では、学級担任がほとんどの教科を1人で教えますので、複式学級の一方の学年が担任の授業を受けている間、もう一方の学年は同じ教室内で学習プリント等を使用した自学などを行うことが多くなります。

### 授業中のイメージ（例）



## 紫雲寺地域3小学校児童数の将来推計

紫雲寺小学校 (令和3年5月1日現在)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1年	24	20	21	12	20	13	17
2年	25	24	20	21	12	20	13
3年	29	25	24	20	21	12	20
4年	26	29	25	24	20	21	12
5年	23	26	29	25	24	20	21
6年	22	23	26	29	25	24	20
合計	149	147	145	131	122	110	103

米子小学校 (令和3年5月1日現在)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1年	10	9	13	10	7	9	7
2年	11	10	9	13	10	7	9
3年	12	11	10	9	13	10	7
4年	11	12	11	10	9	13	10
5年	12	11	12	11	10	9	13
6年	10	12	11	12	11	10	9
合計	66	65	66	65	60	58	55

複式学級

藤塚小学校 (令和3年5月1日現在)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1年	17	10	15	9	6	10	9
2年	22	17	10	15	9	6	10
3年	11	22	17	10	15	9	6
4年	22	11	22	17	10	15	9
5年	25	22	11	22	17	10	15
6年	12	25	22	11	22	17	10
合計	109	107	97	84	79	67	59

3小学校計 (令和3年5月1日現在)

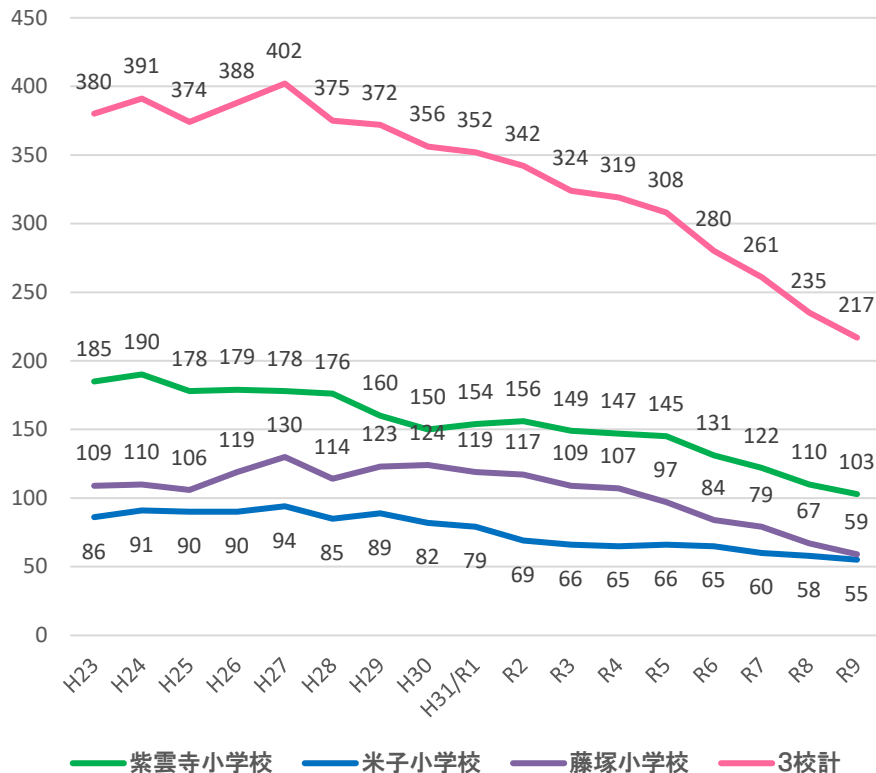
	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
1年	51	39	49	31	33	32	33
2年	58	51	39	49	31	33	32
3年	52	58	51	39	49	31	33
4年	59	52	58	51	39	49	31
5年	60	59	52	58	51	39	49
6年	44	60	59	52	58	51	39
合計	324	319	308	280	261	235	217

### 3小学校の年度ごとの推移

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
紫雲寺小学校	185	190	178	179	178	176	160	150	154	156	149	147	145	131	122	110	103
米子小学校	86	91	90	90	94	85	89	82	79	69	66	65	66	65	60	58	55
藤塚小学校	109	110	106	119	130	114	123	124	119	117	109	107	97	84	79	67	59
3校計	380	391	374	388	402	375	372	356	352	342	324	319	308	280	261	235	217

①特別支援学級児童を含む ②基準日：5月1日 ③R4以降はR3.5.1時点の住民基本台帳登録人数

## 児童数の推移





# 保護者合意形成と 学校統合に向けた 協議再開

- 学校統合「反対」表明した小学校区で、改めて、保護者が学校統合に関する意向調査を実施
- 保護者意向調査の集計結果を公表「賛成多数」となる
- 「賛成多数」を受けて、保護者代表が、市へ学校統合に向けた話し合いに積極的参加することを表明
- 残りの2校の保護者代表、自治会代表に、市から状況を説明
- 3小学校区とも、統合に向けた協議再開で合意

## 新たに「統合小学校開校準備協議会」を設立

(3小学校区の自治会・保護者の代表、学校長で構成)

令和3年10月15日

紫雲寺中学校区小学校児童の保護者様  
紫雲寺中学校区保育園園児の保護者様

新発田市教育委員会

## 紫雲寺地域の3小学校の統合協議の再開に向けて

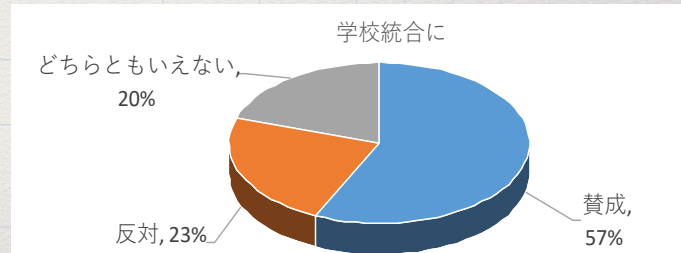
7月に発行した「紫雲寺地域の3小学校の統合について」で、令和8年度に複式学級が発生する可能性と、統合した場合の通学支援をスクールバスで検討できるようになったことをお知らせしました。その後、**藤塚小学校区**では小学校PTAと保育園保護者会が連携して、「意向調査」が行われましたので、その結果と今後の予定についてお知らせします。

また、平成28～29年度に行われた**紫雲寺地域統合小学校検討委員会**の「検討のまとめ」についても改めてお知らせいたします。

## 藤塚小学校区の保護者意向調査の結果について

藤塚小学校PTAと藤塚浜保育園保護者会は共同で学校統合に関する意向調査が行われました。対象の96世帯のうち90世帯から回答があり（回答率93%）、「賛成」51世帯（57%）、「反対」21世帯（23%）、「どちらともいえない」18世帯（20%）でした。

平成30年1月の時点では「統合反対」でしたが、今回の調査結果を受け、PTAと保護者会は、今後、**市が進める統合に向けた話し合いに積極的に参加することになりました。**



## 統合に向けた協議の今後の予定について

1. 各小学校区の保護者代表、自治会代表との意見交換
2. 3小学校区合同の会議体の設立  
(保護者・自治会等の代表、学校、市教委等で構成予定)
3. 統合目標年度の設定及び準備スケジュールの策定

(表面から続く)

## 紫雲寺地域統合小学校検討委員会 検討のまとめ

平成28, 29年度の2か年に渡って、「紫雲寺地域統合小学校検討委員会」が計6回開催されました。最終回となった平成29年10月31日の第6回でまとめられた事項は以下のとおりです。以下の「まとめ」をもとに、今後の協議を進めていきます。

### 学校統合について

・紫雲寺地域の望ましい教育環境の実現のために、地域内では賛否両論はあるものの、**3小学校（紫雲寺小学校・米子小学校・藤塚小学校）の統合(同時統合)については避けられないもの**と考える。藤塚浜町内会総会での意見も十分に考慮し、市として判断すること。

### 統合校について

・市から提案のあった、**紫雲寺小学校を統合校とする**考えについては、地理的要件や児童クラブ等との関係から妥当と考える。  
・閉校となる場合の米子小学校、藤塚小学校については、地域との協議を踏まえ、それぞれの地域の活性化に資する活用方法を検討すること。

### 通学支援について

- ・紫雲寺小学校に統合した場合の、米子小学校、藤塚小学校の児童については、通学支援を行うこと。
- ・紫雲寺小学校の児童にあっても、一律に通学距離で判断することなく、児童の安全安心な通学環境を確保すること。
- ・歩道や街灯などの通学路の整備に努めること。
- ・学校統合に関わらず、中学校への通学路の安全確保も考慮すること。

### 学校教育について

- ・統合後の児童間の人間関係について不安を抱くことのないように、**統合前から計画的に取り組む**こと。
- ・干拓太鼓、大漁太鼓、ブラスバンドなどの活動については、統合後のあり方について、各地域と十分検討すること。
- ・それぞれの学年で**統合前から十分に交流を図る**こと。
- ・統合するにあたり、保護者の不安に真摯に対応すること。

お問い合わせ：新発田市教育委員会教育企画課 TEL 0254-22-6785

学校統合に向けて  
地域住民の  
機運を高める

- 統合校の名称
- 統合校の校章
- 統合校の校歌(歌詞)

統合小学校開校準備協議会が、  
地域住民から公募、選考結果  
を公表、市長へ推薦

令和4年9月 市議会

学校設置条例改正議案の可決

## 回 覧

### 紫雲寺地域

### 統合小学校開校準備協議会だより

《第1号》 令和4年6月1日発行

紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会（事務局 新発田市教育委員会）

## 統合小学校の校名案は「紫雲寺小学校」

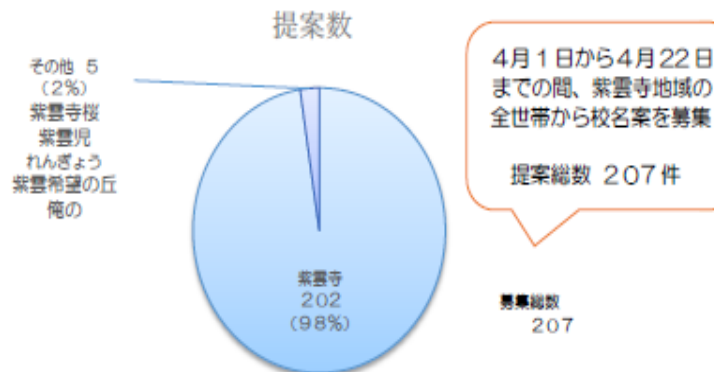
令和4年5月19日に開催された、第2回紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会において、紫雲寺地域の統合小学校の校名案を「紫雲寺小学校」として、市長へ推薦することとしました。

これは、この4月に、紫雲寺地域の全世帯から校名案を募集した結果を参考に協議し、協議会としては、紫雲寺地域の3小学校が統合して誕生する新しい統合小学校の名称としてふさわしいという意見でまとまったものです。今後は、市の条例改正手続きが行われ、市議会の議決により正式決定となる予定です。

紫雲寺地域の皆様、統合小学校の校名案募集の際はご協力いただき、誠にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

今後は、統合小学校の校章デザイン及び校歌の歌詞を募集する予定です。

### 紫雲寺地域統合小学校「校名案」提案状況集計



令和4年5月19日 第2回紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会の様子

紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会  
【事務局】新発田市教育委員会教育総務課  
担当 井浦 新発田市乙次281番地2  
電話 (22) 9531  
Fax (26) 3755  
E-mail : kyoiku@city.shibata.lg.jp

## 紫雲寺地域 統合小学校開校準備協議会だより

《第2号》 令和4年10月発行  
紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会（事務局 新発田市教育委員会）

### 紫雲寺・米子・藤塚の3小学校統合が正式決定

令和4年9月22日に新発田市議会本会議が開催され、紫雲寺地域の統合小学校として「紫雲寺小学校」を設置する条例が可決、承認されました。市議会の議決により、紫雲寺小学校、米子小学校及び藤塚小学校3校の統合が正式に決まりました。

- |         |                              |
|---------|------------------------------|
| ○統合時期   | 令和7年4月1日                     |
| ○統合校の位置 | 現在の紫雲寺小学校（新築、建替えはせず、校舎を部分改修） |
| ○統合方式   | 3校を統合し、新しい小学校を創立             |

### 令和7年4月統合に向けた主なスケジュール

私たち開校準備協議会では、令和7年4月紫雲寺小学校の統合に向けて、「校章」、「校歌」の制作、スクールバス運行計画の作成、教育目標の決定等、必要な準備を進めていきます。

引き続き、紫雲寺地域の皆様には、子どもたちの望ましい教育環境を整備するために、御理解と御協力をお願いいたします。

#### 令和4年度

- ・校章(デザイン)・校歌(歌詞)の募集・選考
- 統合後の紫雲寺小学校の校章(デザイン)と校歌(歌詞)を地域の皆様から募集します。  
※詳しくは全戸配布されてある「募集文書」を御覧ください。

#### 令和5年度～6年度

- ・スクールバスの運行計画作成、運行準備
- ・教育目標の検討、教育課程の調整、PTA 統合の協議、体育着・うち履き等の検討等
- ・3小学校児童交流事業の実施(校歌練習等)
- ・閉校記念式典の実施(各小学校閉校記念式典等実行委員会による)

#### 令和7年度

- ・4月1日開校
- ・紫雲寺小学校スクールバス運行開始

## 紫雲寺地域 統合小学校開校準備協議会だより

《第3号》 令和5年3月発行  
紫雲寺地域統合小学校開校準備協議会（事務局 新発田市教育委員会）

### 紫雲寺小学校の校章・校歌（歌詞）を選定

令和4年10月3日（月）から令和4年11月18日（金）にかけて、紫雲寺小学校の校章（デザイン）・校歌（歌詞）を募集し、校章が15作品、校歌が10作品の御応募がありました。これらの作品の中から、開校準備協議会で検討を重ね、以下の作品に選定いたしました。多数の御応募に御協力いただきましてありがとうございました。

#### 校章



#### 選定理由

- ・旧紫雲寺町のシンボルであるレンギョウが印象的である。
- ・レンギョウの枝で3校の頭文字を形作っていて素晴らしい。
- ・盛り込みすぎず、すっきりとしたデザインで親しみが持てる

#### 校歌（歌詞）

一 さらさらと聞こゆ 海のおと  
緑のすきまで ただようように  
心かよわすこのまちで  
ともに遊ぼうともに遊ぼう  
明日へと輝く 元氣はぐくむ  
われら 紫雲寺小学校

二  
そよそよとなびく 風のいろ  
加治のみなみに いろどる花よ  
心かよわす このまちで  
ともに学ぼう ともに学ぼう  
明日へと輝く 優しさはぐくむ  
われら 紫雲寺小学校

三  
ゆらゆらと揺れる 雲のなみ  
黄色いみちを そろって歩こう  
心かよわす このまちで  
ともに励もう ともに励もう  
明日へと輝く 希望はぐくむ  
われら 紫雲寺小学校

#### 選定理由

- ・3地区の特色が盛り込まれていて、それぞれの情景が目に見えやすい。
- ・子どもに親しみやすい歌詞で、歌いやすいと思う。

### 作者の想い

校章（デザイン）作者 笠原賢人さん（紫雲寺小学校卒業生）

#### タイトル『希望の輪』

紫雲寺の象徴である「レンギョウ」の花をテーマにデザインしました。レンギョウの花言葉は「希望」。3本のレンギョウを咲かせた枝は『紫雲寺小・米子小・藤塚小』の3校を表現し、その3本が一つの輪となる「希望の輪」を描いています。枝の先には、それぞれの小学校の頭文字のアルファベットである『S・Y・F』を組み込んでいます。この校章を見た子どもたちが、それぞれ平等に、自分の住む町へ希望を感じてもらいたいという想いと、新設される前に卒業された3校の歴代の卒業生のみなさまにも、新しい校章を平等に受け入れていただけるデザインを心掛けました。

校歌（歌詞）作者 笠原賢人さん（紫雲寺小学校卒業生）

1. 2. 3番にそれぞれ、藤塚地区、米子地区、紫雲寺地区の美しい景色を思い浮かべるような歌詞を心掛けました。子供たちがこの校歌を歌いながら、わが町の美しい景色を想像し、わくわくした気持ちで、明るい未来へ向かい、元気に、優しく、希望に満ちた学校生活、そして、この町での暮らしを送ってもらえるようにと願いを込めました。